

令和5年第1回返子市議会定例会報告

令和5年2月20日から3月16日の期間、返子市総合計画基本構想一部改訂など22議案や陳情2件が審議され、原案通り可決されました。また市長の所信表明や令和5年度施政方針演説も行われました。

●市長所信表明

「返子に住みたい」「返子に住み続けたい」という「選ばれるまち」づくりを進めていくその為の4つの視点

- 1 子育てするなら返子
- 2 いくつになっても元気で安心なまち
- 3 地球環境を守り、安全なまち
- 4 住み心地の良いまち

●令和5年度の子育て支援、教育関係予算の主なもの

区分	令和5年度	令和4年度	比較	対前年度比
一般会計	22,046,000	21,155,000	891,000	4.2%
特別会計				
国民健康保険事業	6,715,800	6,376,700	139,100	2.1%
後援高齢者医療事業	1,339,200	1,358,600	△19,400	△1.4%
介護保険事業	6,743,800	6,822,700	△221,100	△3.3%
計	14,798,800	14,458,000	340,800	2.4%
公営企業会計				
下水道事業	3,183,173	3,811,037	△627,864	△16.5%
合計	46,027,973	39,424,037	6,603,936	1.5%

(令和5年度返子市予算)

- * 妊産婦検診助成費の引き上げ
- * 公園遊具の改修や更新
- * 各学校の特別支援補助教員、少人数指導教員、スクールサポートスタッフの増員や配置
- * 公立小中学校へのICT指導員の派遣

桑原やすえの視点

来年度には中学校部活地域移行やコミュニティスクールについて協議する予算も生まれ、「子育てしやすいまち」として前進する年となります。返子市の子育て支援に関する計画策定に向けてアンケート調査も実施されます。

予算審議でも、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、子どもの意見や考えを聞き施策を進めることを訴えました。子どもは経験が浅い為判断力に欠けるところはありますが、子どもなりの考えを持っています。大人が子どもの可能性をつぶさない返子市を目指したいと思います。

返子市議会議員

教育民生常任委員会副委員長

くかほら 桑原やすえ

議会報告



子育て支援 31年
地域福祉 21年

PICK UP!

①虹色 facebook ライブ「子どもと気候変動について考えよう」

2022年11月18日開催

返子市在住の内田東吾さん(イクレイ日本)が「国際気候変動枠組条約第27回締結国会議(COP27)」の会場エジプトシャルムシェイクから、ライブで現地の様子をレポートし子ども達の質問に答えてくれる企画。市内の中学生2人小学生3人が参加。私はモデレーターを務めました。

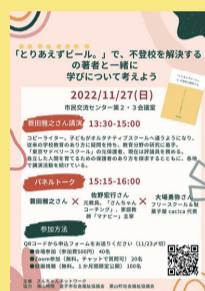


ライブ動画はこちらからご覧になれます



②『「とりあえずビール。」で不登校を解決する』の著者とパネルトーク

2022年11月27日返子市交流センターにて開催



各地で不登校について講演会を開催している講師を招き、後半は地元で活動している方も交えたパネルトーク。私はモデレーターを務めました。

不登校状態の時「行った方がよいのに行けない」「行けない子は悪い子」という自己否定のスパイラルに陥りがち。そんな時大人は子どもの今のままを肯定することが大切。さらに子どもの成長に大切なのは「好き!」という感覚。「好き」は学びの原動力となり、成功体験を積み重ねることで、頑張ることも楽しくなる、など伺いました。



●市政に対するご意見お寄せください

返子市久木 4-17-12 ☎090-3910-1990
kuwaharayasue2022@gmail.com

桑原やすえ
公式 HP



1989年国連で採択された子ども権利条約。子どもを保護の対象としてだけでなく、一人の人として認め、自己決定を含めた権利の主体として捉えました。日本では1994年に批准し、2022年に子どもの権利を大切にしようという法律「こども基本法」が成立しました。「こどもまんなか社会」とは全ての子どもがその命を守られ、健やかに安心して過ごせるよう、常に子どもにとっての最善を考えていく社会のことです。

こどもまんなか社会

こどもまんなか社会を進めていく上で気を付けなければならないことは?

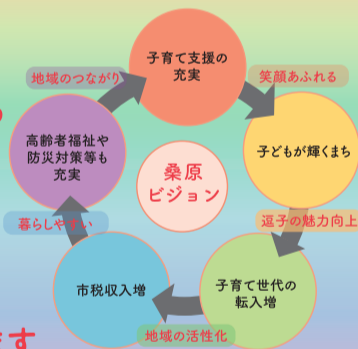
「大人の都合で決めていないか?」

「子どもの気持ちを尊重しているか?」

「子どもの能力を低く見ていないか?」

子どもの笑顔が輝くまちには

- 明るい家庭がある
- 温かい人間関係がある
- 生活にゆとりがある
- 素敵な大人がいる
- みんなの幸せがあります



令和4年の定例会一般質問から

●公立学校でのいじめ問題について 学校だけでなく全市的な連携を!

返子市では2年前にいじめ重大事態が発生し、令和3年に「いじめ問題対策連絡協議会条例」「いじめ防止基本条例」ができ、令和4年から「いじめ問題連絡協議会」が開催されるようになりました。いじめ問題は学校だけで解決できるものではありません。子育て支援課、福祉部など横の連携を持ち、情報共有や多方面からのアプローチが必要です。現状に甘んじず先進例を参考にさらなる連携を求めました。

■先進的な取り組みをしている大阪府箕面市 教育と福祉のデータ連携による「子ども成長見守りシステム」子どもをキーとしてデータを集約し、困っている子どもや保護者に問題が起きる前の支援が実現している



資料: 箕面市子ども成長見守り室資料より

●インクルーシブ公園

市内にインクルーシブ遊具やインクルーシブ公園の導入を!

豊かな人間関係が育まれるためには、出会いや交流の場が様々なことは必然です。その為にも高齢者も障がいのある大人も子どもも、全ての人が心地よく過ごせるインクルーシブな公園を返子市に作りたくと考えています。インクルーシブな遊具も開発されていますが、単に遊具を置くだけでなく様々な人が交流できるイベント

などソフト面での工夫も必要と考えます。



写真: インクルーシブ公園の例

●不登校問題について

フリースクールなどへの公的支援を!

不登校の数は全国的に増加していますが、返子市も例外ではありません。学校に行っていない時間の過ごし方で悩んでいる方は多く、学習面や健康面、社会性の問題など不安を抱えています。また仕事を辞めざるを得ない家庭もあります。不登校支援は様々な必要ですが、家庭や学校以外の居場所を増やすことも重要です。子どもたちの居場所として増加傾向にある「フリースクール」。高額なフリースクールに通える家庭は限られ、利用者の負担軽減を目指す非営利事業者は

事業の継続が難しいという現状です。このような状況から基準を設けてフリースクールに対して補助金を出すなどの提案をしました。不登校となっている子ども達にも学びの機会や、居場所を保証したいと考えます。



写真: 川崎市子ども夢パーク

●子どもの人権・青少年健全育成

子どもの意見や権利を尊重する社会へ!

2022年6月15日、こども家庭庁設置法とこども基本法が成立しました。子どもを権利の主体として位置づけ、その権利を保障する総合的な法律です。子どもの意見を取り入れてこなかった反省から、生徒指導提要では子どもの意見を反映した校則見直しなど示しています。

返子市で昨年度から行われている子ども議会。そこで出た意見の市政への反映や市民への周知を求めました。

令和3年度子ども議会で提案された「ビブリオバトル*」が今年の3月29日に開催されることになりました!

*お勤めの本を持ち寄りその本の魅力を紹介し合う書評ゲーム